

レガシーEDIの2024年問題 をご存知ですか？

2017年4月6日に、NTTから発表された計画では、「固定電話のバックボーンをIP網に切り替える作業が**2024年初頭に始まり1年後に完了する。**」と発表がありました。

全銀TCP/IP手順、全銀手順・JCA手順
(9.6、19.2、64Kbps)
↓
ISDN (INS64) の「データ通信サービス」

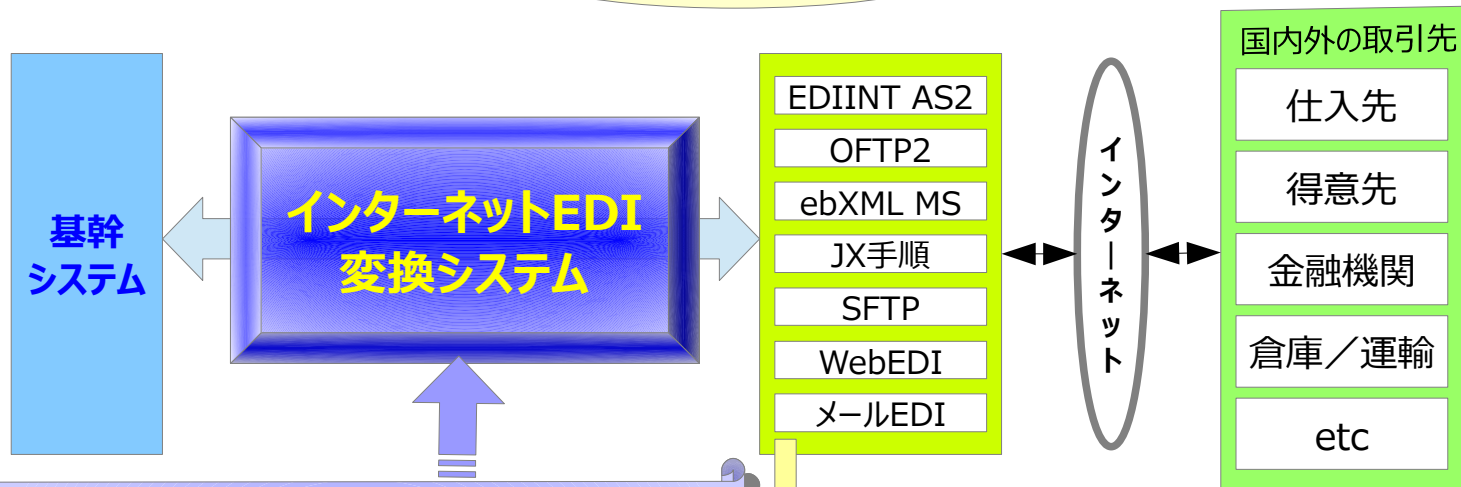
早ければ 2020年度後半 には、
利用できなくなります！

全銀手順・JCA手順 (2.4Kbps)
↓
加入電話、ISDN (INS64) の「通話サービス」

2025年以降もサービスは継続されますが、
IP電話 になり、通信エラーの発生やスループットの低下が懸念されます。

インターネットEDI への見直しを行いましょう!!!

「EDIが止まれば日本の経済活動は大きな影響を受ける」とまで言われています。
ISDNや加入電話をデータ通信回線として利用している企業様は、残り7年弱の間に
自社システムの対応状況を把握し、対策を決めておく必要があります。



貴社のシステムとインターネットEDIとの連携の仕組みをご提供させていただきます。もちろん、貴社システムの見直しのお手伝いもさせていただきます。

EDIシステムは各種ツールを利用いただけます。
⇒弊社からも御提供可能です。ご相談下さい。

【インターネットEDIを実現する主な通信プロトコル】

種類	概要	採用業界
EDIINT AS2	セキュアにデータ交換が可能で、ウォルマートやカルフル、Amazonなどの多くのグローバル企業が採用しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・流通BMS（流通BMS協議会） ・EDIサービス ・グローバルEDI
OFTP2	欧州の自動車業界を中心に利用され、国内の自動車業界でも利用の動きがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルEDI（自動車業界）
ebXML MS	アジアを中心に利用され、国内ではバージョン2とバージョン3が様々な業界で利用されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・流通BMS（流通BMS協議会） ・JAMP-GP（産業環境管理協会） ・ECALGA（JEITA/ECセンター） ・NACCS（輸出入・港湾関連情報処理センター） ・MD-Net（日本医療機器ネットワーク協会） ・EDIサービス
JX手順	日本独自の規格で、中小企業向けのプル型データ交換を可能にした通信プロトコルです。JCA手順の後継プロトコルとされていますが、小売・流通業以外の業界も採用しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・流通BMS（流通BMS協議会） ・MD-Net（日本医療機器ネットワーク協会） ・OCCTO（電力広域的運営推進機関） ・EDIサービス
SFTP	FTPコマンドのように対話的にファイル転送をするOSに標準実装されている通信プロトコルです。企業内や企業間でのファイル交換に幅広く利用しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルEDI ・サービス（各種SaaS）連携 ・社内・グループ企業間データ連携

貴社の業種・業界に合った通信プロトコルの選択が必要です。
（お取引先と個別の調整が必要となるため、計画的な移行を推進していく必要があります。）

固定電話をデータ通信に使う用途は意外に多くあります。
以下をご利用をお客様も、早急に対策の検討が必要になります。

- ・POS（販売時点情報管理）
 - ・CAT（クレジットカードの読取機）
 - ・警備
 - ・銀行ATM（現金自動預け払い機）
 - ・バンキング、ビルやエレベーターの監視・管理
 - ・FAX
 - ・企業WAN（拠点間接続）
- など...

上記にも該当するお客様は、是非エムエムアイ(株)までお気軽にご相談下さい。

詳しくは、こちらにご連絡ください。

エムエムアイ株式会社



06-4805-7702



eigy@mmi-g.co.jp

営業担当：佐々木